

## 平成28年度 撫養小学校 学力の実態とその対策

本年度4月に6年生が全国学力・学習状況調査、4・5年生は徳島県学力ステップアップテストを実施しました。また、10月末にも4・5・6年生は徳島県学力ステップアップテストを受けました。その結果を保護者の皆様にご報告するとともに、平常の学習の様子から見えている本校の子どもたちの学力の実態と、それに対する今後の方策についてお知らせいたします。

ご家庭のご協力が必要でありますので、ご理解の上、何とぞよろしく願いいたします。

### 1 全国調査や県テスト結果から……

	4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
4月	◎	◎	◎	◎	△	△
10月	◎	◎	◎	◎	○	◎

本校児童の学力調査・県テスト結果を県平均と比べ、県平均より上を◎、同じを○、下を△で表しました。なお、国語・算数は、A：主として知識、B：主として活用に別れていますが、本表は全体の正答率です。

### 2 学習状況や生活から……

- ▲ 就寝・起床時間が不規則な児童が多い。  
→就寝・起床時刻のルールづくりについて、家庭との連携を一層強化する。
- ▲ 話し合ったり、考えをまとめて発表したりする機会が少なかったと感じる子どもが多い。  
→全学年でホワイトボードの活用などを進め、分かりやすく楽しい授業を実施する。
- ▲ 社会の問題や出来事に関心がない子が多く、ボランティア経験も少ない。  
→新聞を活用したり、社会事象を結び付けた授業に取り組む。  
→家庭でも地域や社会の出来事を話題にするように勧める。
- ▲ 計画を立てて、予習・復習等の家庭学習を行う時間が短い。  
→学習方法を改めて知らせるとともに、自主性を育て達成感を味わわせるようにする。
- ▲ 家での読書時間が少ない。全くしないが約3割、10分以内も合わせると5割以上。  
→ノーテレビデーや親子読書の推進など家庭と連携した取り組みを進める。
- ▲ 家の人と学校の出来事について話す子どもが少ない。  
→学校が情報提供に努めるとともに、家庭での対話促進を働きかける。
- ▲ 習い事やスポーツなどで忙しいのか、朝からあくびをしたり、集中力に欠け

る子どもがいる

→家庭との連携を図り、子どもの生活全般を見直す必要がある。

- 家で学校の宿題や予習をしている子どもが多い。  
→今後も学習習慣の定着を図る。復習もするように指導する。
- 図書館や図書室で本を借りるなどして読書に親しむ児童が多い。  
→週末に図書室の本を借りさせる。読ませたい本を紹介する機会を多くとる。
- 先生はよさを認めてくれたり分かるまで教えてくれる。  
→今後も子ども一人ひとりに応じたきめ細かい指導を継続する。

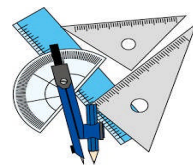


### 3 国語の学力は・・・

- ▲ 問題内容を読み取って答えることが苦手な児童が多い。  
→読んだ問題を絵や図に表したり、キーワードに印を付けたりする習慣をつける。
- ▲ 目的に応じて複数の本や文章を読み比べることが苦手である。  
→様々な教科で、大切な内容を落とさず比較しながら考える機会を多く設定する。
- ▲ 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問できる子が少ない。  
→朝会などを活用し、本校独自に作った「ききみみカード」を使って話の聞き方を日常的に指導する。
- ▲ 自信をもって発表できない子どもが多い。発表を良くする子が限定される。  
→ペア・グループ学習を積極的に取り入れたり、ディベート等活発な意見交換ができる場の設定をする。全員発表の機会も意図的に作る。
- 漢字の読み・書きを含め、言語についての知識や理解力は高い。  
→今後もドリルで繰り返し学習するとともに、日頃から正しい漢字や言葉を使うように指導する。
- 自分の考えをまとめ、文章を書くことができる子どもが多い。  
→今後も国語だけでなく様々な学習場面で書く活動を多く取り入れたい。

### 4 算数の学力は・・・

- ▲ 図形の要素に注目して、図形を構成するのが苦手である。  
→三角定規や実際の図形を使う機会を多くして、視覚的に訴え、理解させる。
- ▲ 末尾の位が揃っていない少数計算を誤答する子どもが多い。  
→ドリルなどを使って既習学習を復習し繰り返し問題を解き基礎の力の定着を図る。
- ▲ 個別につまずいている箇所が異なり、個人差が大きい。  
→ティームティ칭ングや少人数指導が効果的に活用できるような授業を進める。
- グラフから必要な情報を読みとる。  
→今後もドリル学習などによって基礎の力のさらなる定着を図る。



○ 算数の勉強は大切だと思い、算数が好きな子が多い。

→ 今後は算数だけでなく、他の教科にも興味をもたせる授業の工夫をする。

## 5 保護者の皆様へお願い・・・

「学力」は単に国語や算数といった教科の学習をしっかりすると、どんどん伸びるものではありません。素直さや真面目さ、粘り強さなど人間としての成長がなければ学力向上は実現しません。毎日の生活を整えること、人間としての考え方や行動の仕方を正しくすることは「学力」とは関係ないように思われがちですが、けっしてそうではありません。一つ一つの考え方が、その人の運命まで変えるようです。カトリック教会の修道女で修道会「神の愛の宣教者会」の創立者であるマザーテレサは貧しい人々のための活動を全世界に広め、ノーベル平和賞受賞そしてアメリカ名誉市民に選ばれました。彼女の言葉を紹介します。

考え方に気をつけなさい、  
それはいつか言葉になるからです。  
言葉に気をつけなさい、  
それはいつか行動になるからです。  
行動に気をつけなさい、  
それはいつか習慣になるからです。  
習慣に気をつけなさい、  
それはいつか性格になるからです。  
性格に気をつけなさい、  
それはいつか運命になるからです。

目の前の子どもが幸運を呼び込み、すばらしい人生を送ることを願わない親はいないでしょう。そのためには、正しい考え方ができる子どもになるように、毎日の子どもとのかかわりを大切にしていきたいでしょう。

